

東京医科歯科大学歯科東京同窓会 学校歯科保健部講演会のお知らせ

東京医科歯科大学歯科東京同窓会
会長 長井 博昭
副会長 佐藤 和義
常務理事 中村 道
常務理事 小川 伸子

本同窓会学校歯科保健部では、下記の要領で講演会を企画いたしました。学校歯科保健活動に携わるすべての先生にお勧めです。同窓会員以外の先生もご参加いただけますので、お誘い合わせのうえご参加ください。

演 題：子どもの虐待・ネグレクトと歯科保健

副 題：「善意はしばしば有害であり」「熱意は非常に危険である」「そして正義はもっと危険」

講師 とよたまこころの診療所長 鷺山 拓男 先生 (医・学38)



虐待やネグレクトによる子どもの身体・精神医学所見の多くが自然経過のなかで変化消褪するのに対して、歯科保健における健診は、う歯所有率、未処置歯数など、継続的な観察所見の客観性において優れており、とくにネグレクトの早期発見の場として重要であることは、多くの報告がある。

子どもの養育において、子どもの「歯磨き」や「食事」は「入浴」と並ぶ親にとっての難題であり、その悩みは具体的で切実である。親たちは疲弊しきって苦しいのであり、無知や怠惰によるネグレクトではないのでいわゆる保健指導のみで解決はしない。歯科健診で母子に出会う歯科の先生方には、大量のう歯などの口腔内状況や栄養ネグレクト状態の子どもの所見を、それでも健診につれてきた親たちの疲弊と援助希求のとよみとり、その苦しさへの共感、労い、そして育児負担を軽減する支援を提供していただけることを望みたい。

当日は、子どもの虐待とネグレクトについて、親の問題に帰するのではなく子育て環境の孤立化と母親たちへの過剰な負荷、地域社会の支援の不足など、わが国の社会の側の課題に視点を向け、発見と通告よりも予防的支援に軸足を置いて述べる。

(略歴) 1990年東京医科歯科大学医学部医学科卒／1994年より練馬区保健所嘱託医精神科医／1999年より社会福祉法人子どもの虐待防止センター評議員／2004年より練馬区児童虐待防止マニュアル監修・要保護児童対策地域協議会代表者会議委員、とよたまこころの診療所長／2017-19年、2021年より日本子ども虐待防止学会理事

(著書・講義録) 子どもの虐待と母子・精神保健—虐待問題にとりくむ人のための「覚え書き」. 萌文社. 2004 / 「子育て支援と学校歯科医」—子ども虐待の問題を中心に. 東京都学校歯科医会会誌, 70; 2-15. 2007 / 虐待の世代間伝達の理解. 子どもの虹情報研修センター紀要, 17; 34-53. 2019 / 母子保健の立場から—これまでの20年とこれからの虐待対応. 子どもの虹情報研修センター紀要, 20; 53-77. 2022 / 虐待予防は母子保健から—指導ではなく支援. 東京法規出版. 2022

〈開催日〉令和5年11月29日(水)19:00～

〈会場〉東京医科歯科大学1号館9階 特別講堂 及びリモートによる Zoom web 開催

〈会費〉無料

〈締切日〉11月24日(金)

申込方法：QRコードからお申込みください。(申込確認後、自動返信メールをいたします。)
(Web聴講は先着80名)

〈QRコード〉



東京医科歯科大学歯科東京同窓会

TEL & FAX : 03-3815-1851 / E-mail : tokyo-info@ikashika-dent.com